

# 10月の園だより

令和5年10月2日

目黒区立八雲保育園 園長

## ～考え合い表現する秋～

朝夕の時折吹く風が心地よさを感じさせています。体を動かすことが楽しいこの時期、そしてそのエネルギー源となる食欲の秋です。保育園では先日の「お月見」にあわせて5歳児がお月見団子を作りました。栄養士がオープンスペースに準備を始めると「何が始まるのかな」と隣の4歳児も興味津々で見に来ます。「なんかお米みたいなにおいがするね」と上新粉をこねながら「何人いる、分けるとどうなるかな」「えっと、10人だから…」とみんなで考えながら丸めていきます。栄養士から「団子はすぐに丸めないと硬くなったり割れやすくなったりするから素早くね」と話があると真剣な表情で「水をつけたらちょっと丸めやすくなった」「見て、ツルツル(団子)になってきた」と仕上がりを確かめています。蒸し器から湯気が上がり完成の合図でフタが開くと「うわぁ」と声が上がりました。「これも早く、冷やさないとね」と風の当たり方を工夫して仰ぐとつやつやした団子になりみんなが満足そうでした。団子は9個、4個、2個とピラミッド状に重ねていきます。「どうやったら崩れにくくなるかな」「でこぼこにならない方がいいんじゃない」「大きいのは下の方がいいかな」と考え合っていました。「できたね」と完成したお月見団子を0歳児クラスへも見せに行くと「あっ(黄色いお団子もある)」とすぐに反応する姿に「これはね、食べられないんだ」「飾るからまたゆっくり見てね」と小さな友達と同じ目線にして答えていました。一つの遊びや活動を完成するまでに、子どもたちは自分だけではなく友達の考えにも気持ちを向けていきます。時には思いがぶつかったりすることはありますが、根気よく子どもたちに寄り添いながら「人と一緒に考えて作り上げる楽しさ」が感じられる経験を大切にしていきたいと思います。今月は初めて八雲小学校校庭をお借りして運動会を開催します。たくさんの皆様に子どもたちの元気な姿を見ていただけますよう職員一同、ご来場をお待ちしております。

### 10月の行事予定

運動会(2～5歳児)  
芋掘り遠足(4・5歳児)  
内科検診(全園児)  
幼児お楽しみ会(3～5歳児)  
身体計測 避難訓練

### 11月の行事予定

歯科検診(全園児)  
身体計測 避難訓練



## 体を使って遊ぼう

### 乳児クラス

暑さが厳しかった夏の間、園舎内で楽しめる運動遊びを取り入れてきました。めだかぐみ(0歳児)は階段上りを保育士と一緒に楽しむことができました。2階に着くと「あっ、あっ、」と指差しながら幼児が遊んでいる光景を嬉しそうに見つめています。あひるぐみ(1歳児)は玄関ホールに出て「〇〇ちゃんどこかなー」「まてまてー」と大人が体はみえているけどかくれたり追いかけてこで走り回ったり、音楽をかけて体操を楽しんだりしました。また、友達が乗った箱を押して乗り物の運転手になったり、箱をいくつも繋げて他の友達や保育士と一緒に力を合わせて「よいしょよいしょ」と運んだりしています。らっこぐみ(2歳児)はホールでリズム遊びをしています。ピアノに合わせて動いたり止まったりし、時には汽車のように速く走って大人顔負けの体力を見せています。バランスを取るのが難しいトンボのポーズでは保育士の姿を見て、一生懸命に真似をしようとしています。これからもさまざまな遊びをたくさん楽しんでいきたいと思っています。





# 楽しいがあふれてる！



## ペンぎん組（3歳児クラス）

「メモリー」という神経衰弱が出来るカードゲームを楽しんでいます。初めは保育士と一緒に遊んでいましたが、子ども同士で「いっしょにやろう」と誘い合う姿が増えてきています。カードをめくり絵柄がそろった時には「おんなじだー」と目を丸くして驚いたり、違う絵柄が出ると「ちがったね」と笑い合っています。また、友達も同じカードがそろった時には自分のことのように「やったー」と喜んでいる子もいます。これからも簡単なルールのある遊びの面白さや、友達と一緒に遊ぶことの心地よさに共感しながら楽しめるようにしていきます。



## いるか組（4歳児クラス）

段ボールを使った『球転がしレーン作り』が始まりました。棚などを利用しながら段ボールで斜面を作った子どもたちは、早速上から球を転がします。勢いよく転がっていく様子を見て「遠くまで転がっていっちゃうね」「ゴール作った方がいいね、何を使って作ろうか」とゴールになる受け皿を探します。また「そうだ。真っ直ぐじゃなくて色んな道にしようよ」と斜面に空き箱の壁やペットボトルキャップの石を付けたり、違うコースに向かうペーパー芯のトンネルを作ったりと大忙しです。「よし、転がそうか。せーの！」と球を転がす時の子どもたちの表情は期待感に溢れ、球の行方を友達と見守ります。「あれ？止まっちゃった」「もっと斜めにしなきゃダメなんじゃない」と子どもたちの試行錯誤は続きました。『〇〇が作りたい』『やってみよう』という気持ちを受け止め、形になるよう援助しながら『楽しかった。今度はこうしてみよう』と、更なる意欲へ繋げていきます。



## しろくま組（5歳児クラス）

以前は転がしドッジボールを楽しんでいたのですが、今はドッジボールを楽しんでいます。ボールを当たると「よっしゃ」と喜び、当たった子が悔しがっている姿を見て「また当てれば入れるよ」と励ましています。当たってしまった子も悔しい気持ちを抑えながら外野へ行き、ボールを当たった時は満面の笑みを浮かべて中に戻っていきます。内野の子どもたちはボールがどこにきても当てられないように体を左右に動かし、構えてスタンバイしています。これから回数を重ね楽しんでいくことで、スピードのあるボールをキャッチできるようになったり、仲間と協力してさまざまな経験を積み重ね、満足いくまで楽しみ達成感を感じられるように保育をしていきたいと思えます。